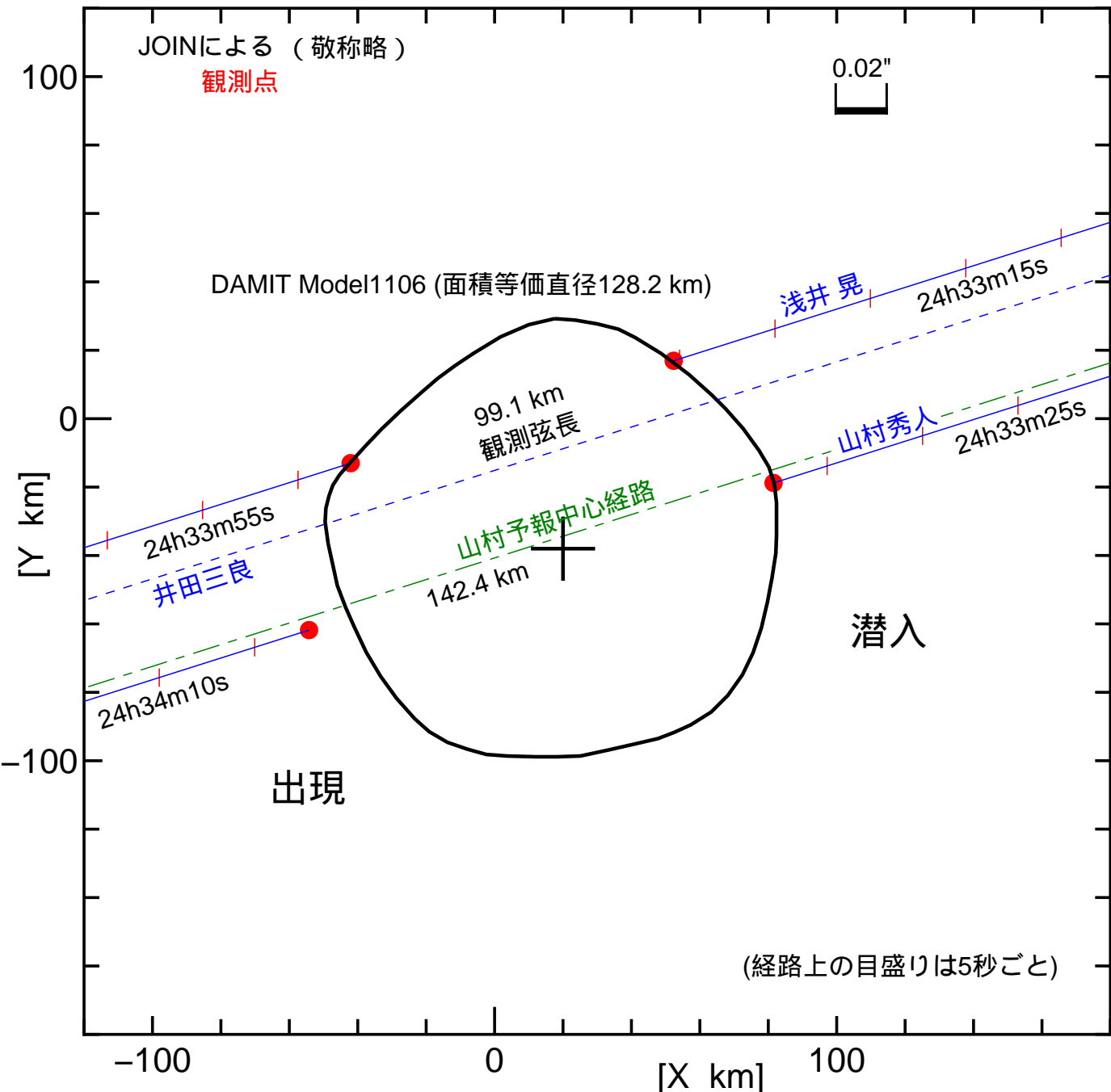


図1 国内小惑星・衛星の食の観測件数の変遷(1980-2020)

1件 = 1小惑星食

図2 (56) Melete (2020年6月15日) の食 観測結果

(時刻はJ.S.T)



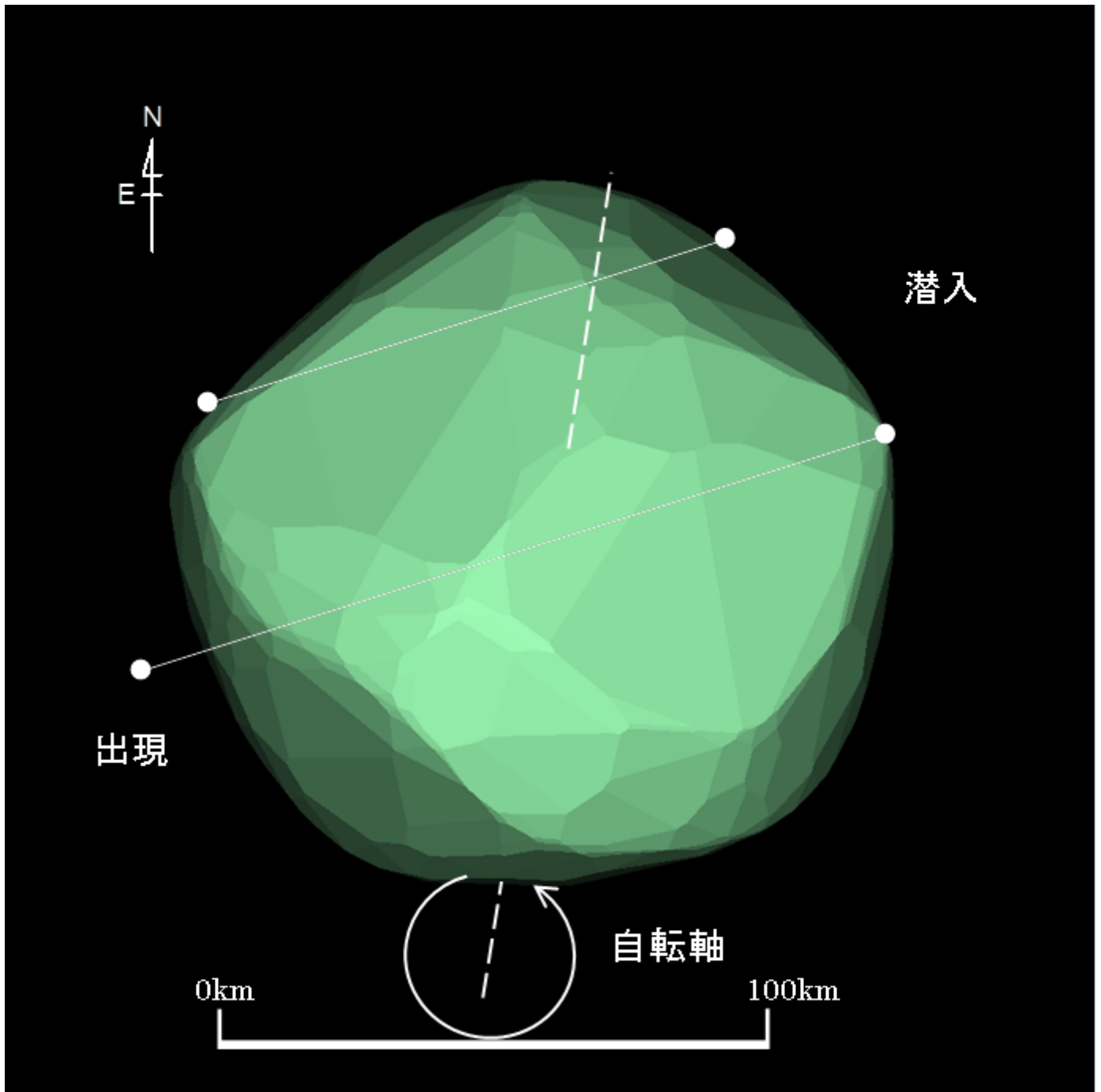


図3 (56) Melete

2020年6月15日 15h33m48s UT DAMIT Model 1106 ($\lambda = 282$, $\beta = -5$)

$P = 171.0^\circ$ 、 $\beta_e = -69.3^\circ$ 、 $\lambda_e = -0.0^\circ$ 、Scale Factor 1:94、 $k = 0.991$ 、 $B = 41.4^\circ$

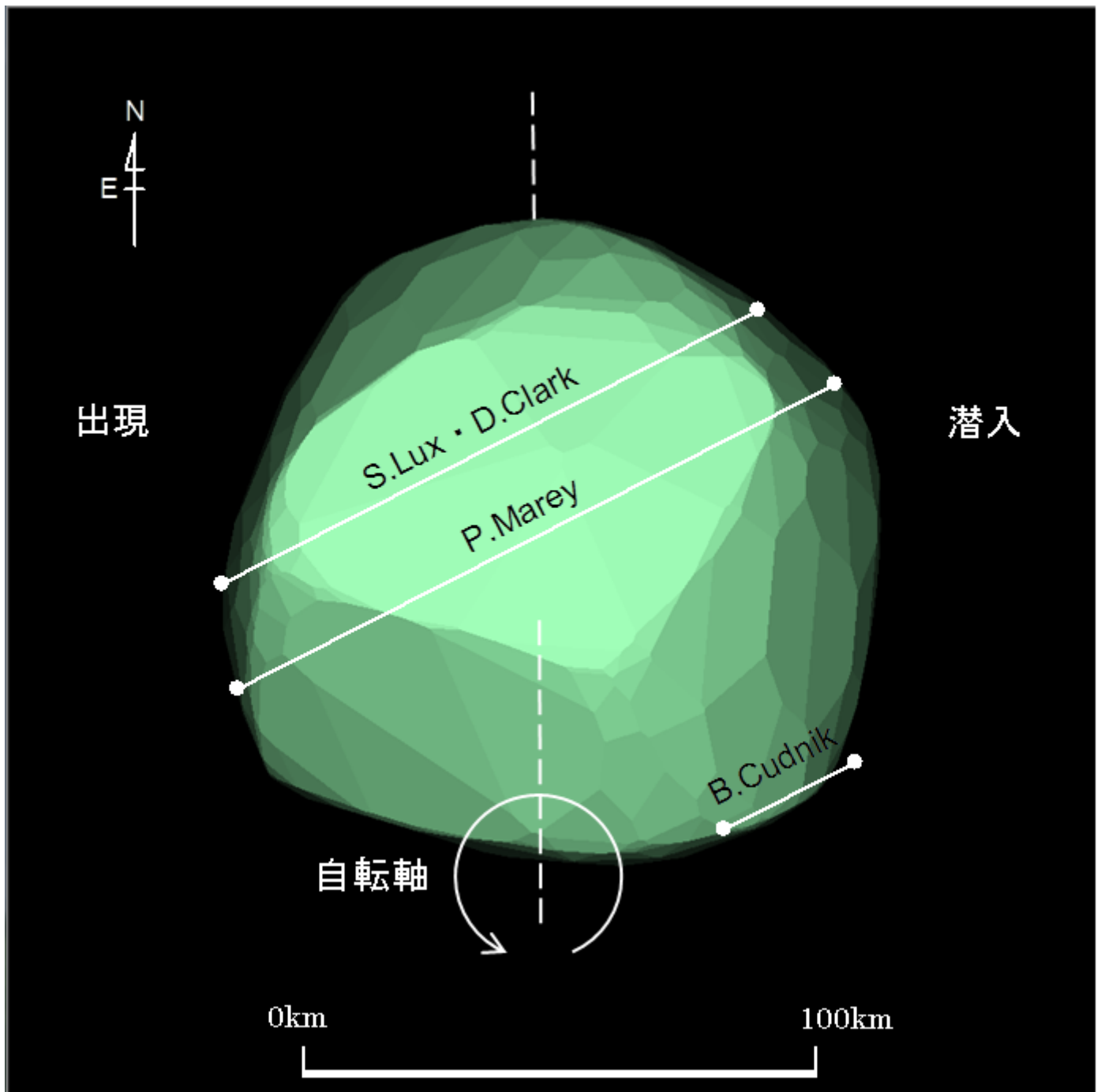


図4 (56) Melete

2010年2月14日 6h42m00s UT DAMIT Model 1106 ($\lambda=282$ 、 $\beta=-5$)

$P=180.6^\circ$ 、 $\beta_e=+74.4^\circ$ 、 $\lambda_e=+39.8^\circ$ 、Scale Factor 1:95、 $k=0.989$ 、 $B=264.0^\circ$

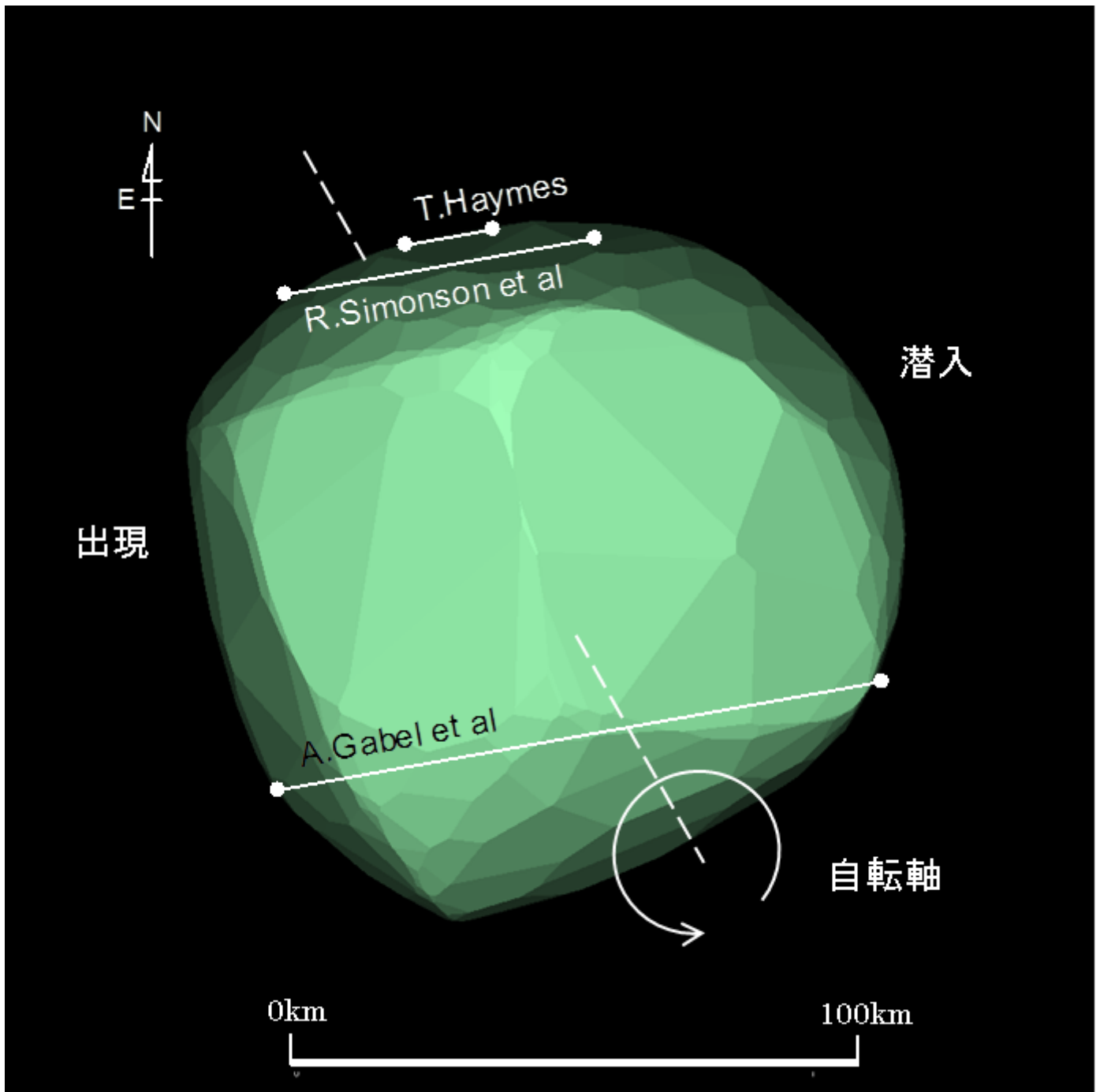


図5 (56) Melete

2014年1月17日 20h35m30s UT DAMIT Model 1106 ($\lambda = 282$ 、 $\beta = -5$)

$P = 209.0^\circ$ 、 $\beta_e = +71.7^\circ$ 、 $\lambda_e = -51.8^\circ$ 、Scale Factor 1:93、 $k = 0.995$ 、 $B = 247.7^\circ$

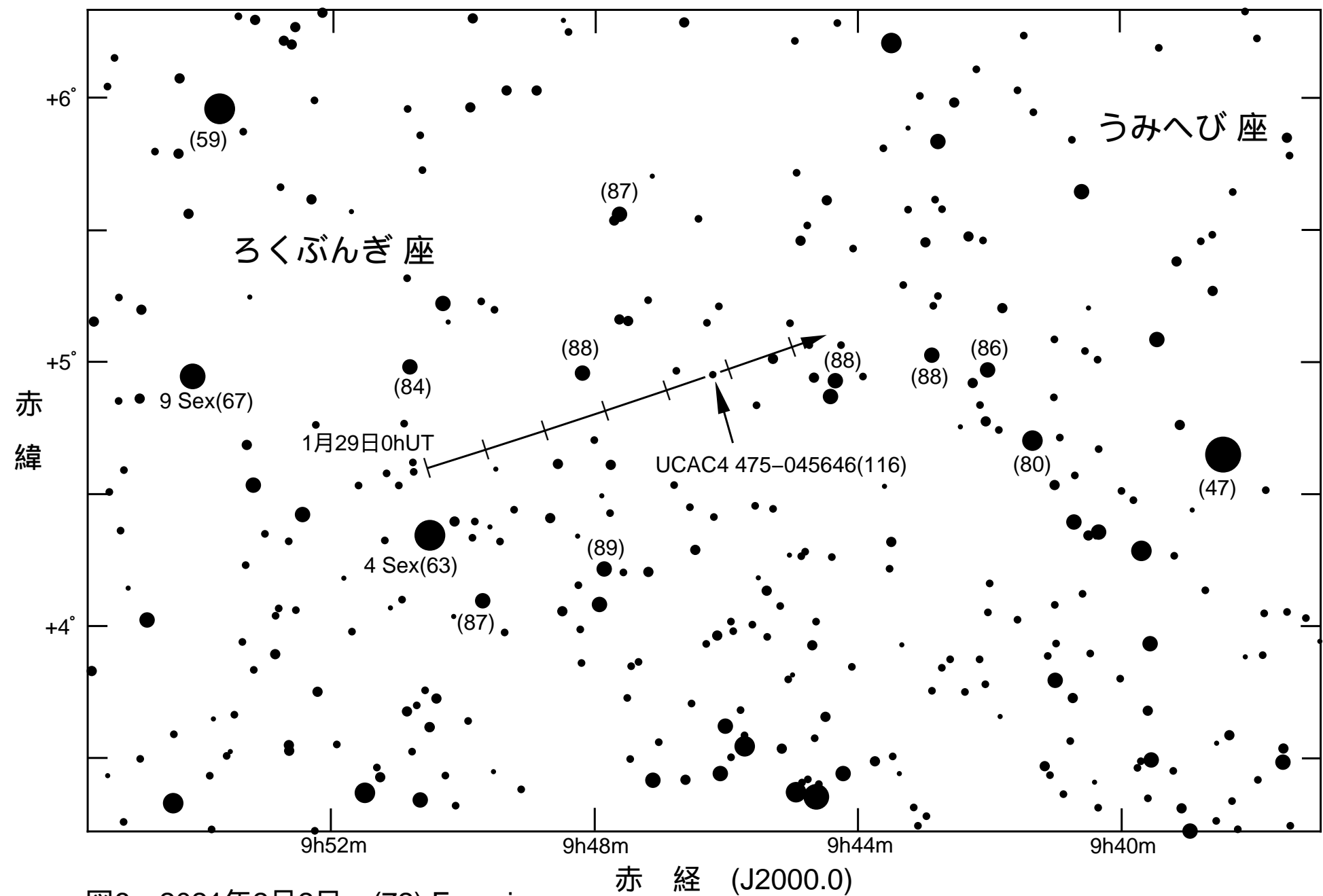


図6 2021年2月2日 (72) Feronia

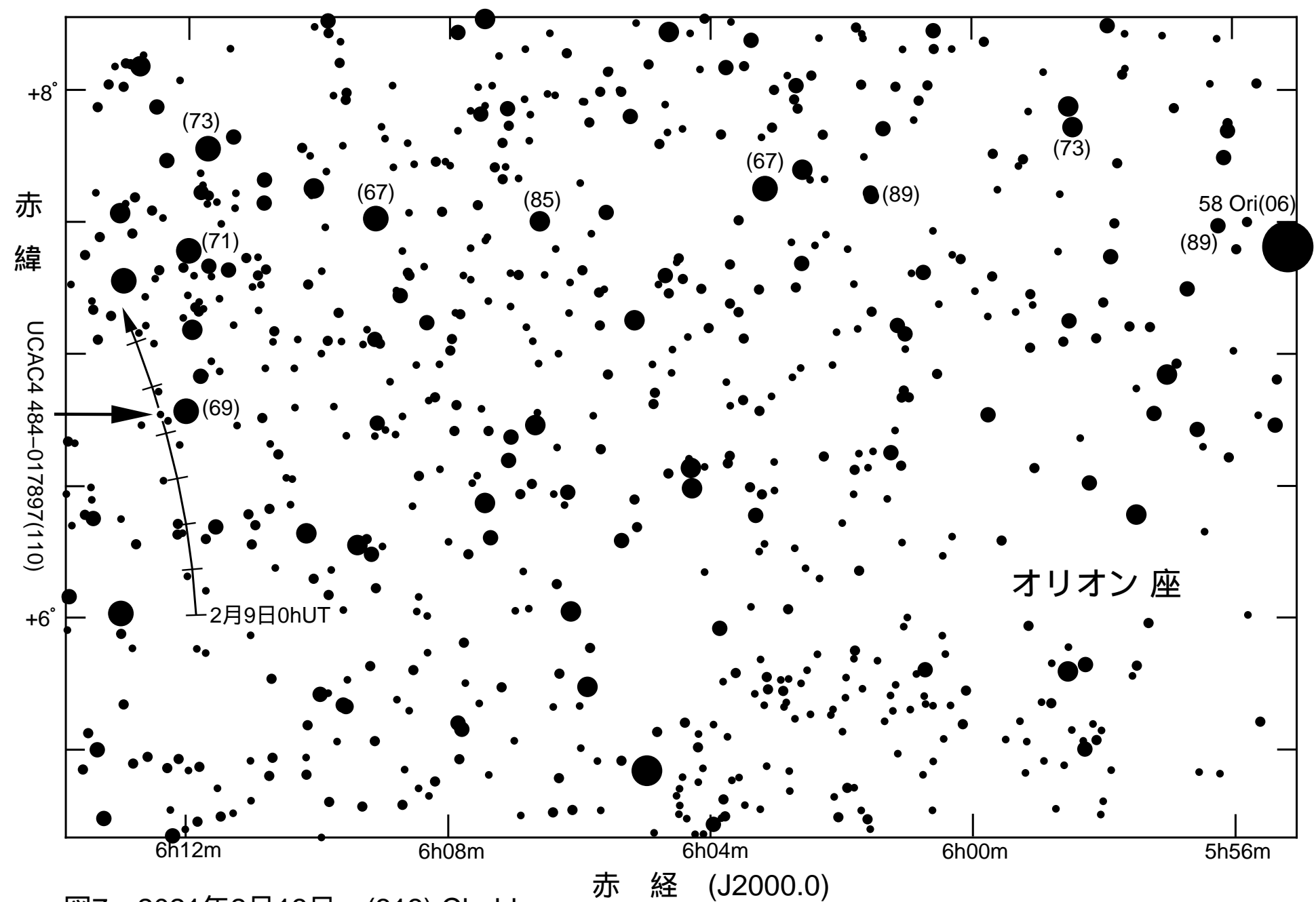


図7 2021年2月13日 (313) Chaldaea

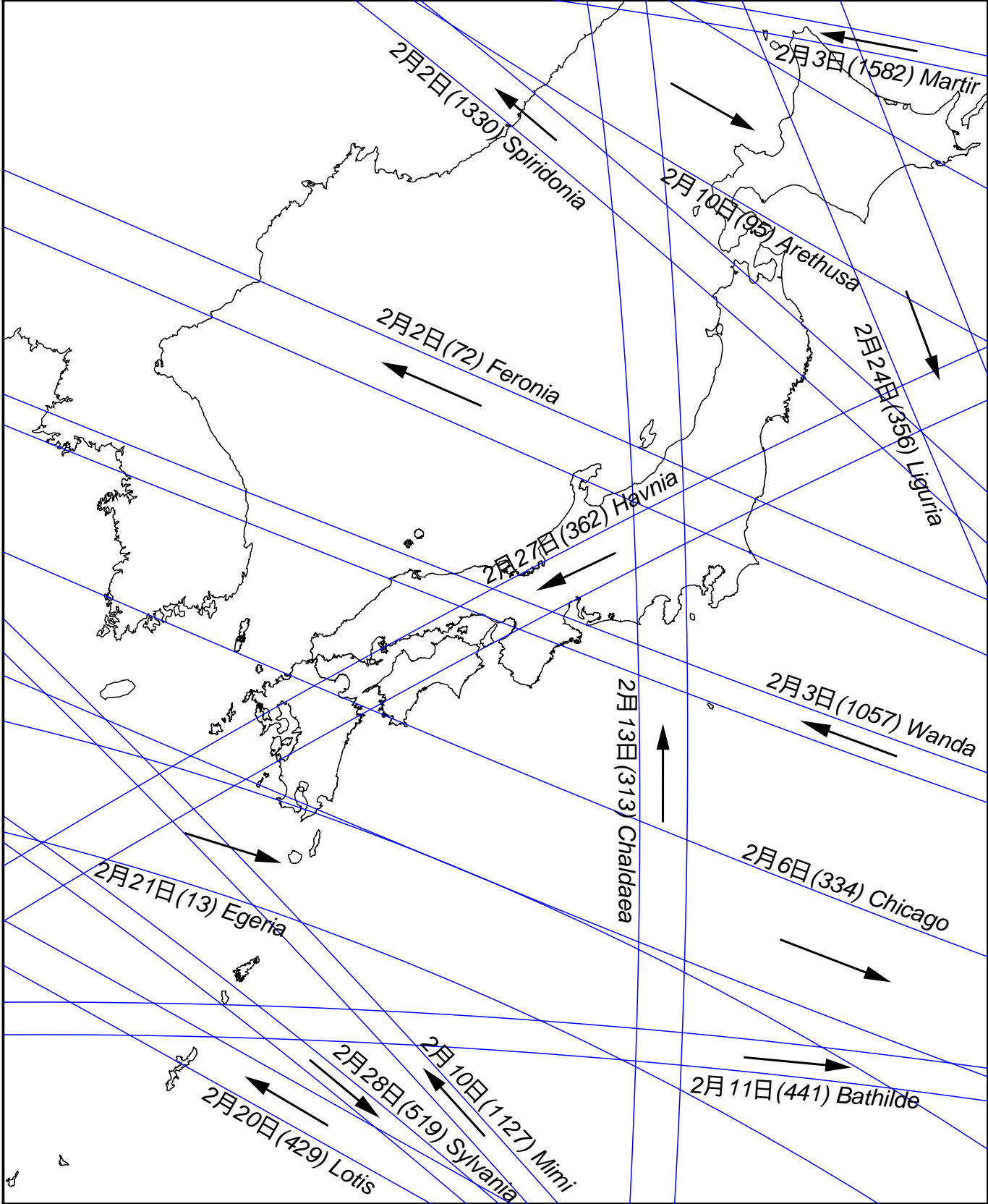


図8 小惑星による主な掩蔽帯経路 (S.Preston初期予報) 2021年2月

矢印は影の移動方向を示す

図9 2021年2月 日本を通る主な星食限界線

(斜線をつけた側で星食が見られる)

青線：北限界 (斜線はこの線の下側)

赤線：南限界 (斜線はこの線の上側)

